

■臨床研究名；甲状腺癌の診断に有用な体外診断用医薬品の開発および性能評価

■情報の利用目的及び利用方法；我々は、甲状腺癌の転移モニタリングに際し高い有用性があり、既存の体外診断用医薬品（以下、診断薬）に比べて精度の高い診断薬の開発を目指しています。この診断薬の性能を評価し、また既存の診断薬との比較を行う目的で、残余検体を使用します。

■利用または提供する情報の項目；

1. 通常検査に使用した廃棄予定の血液
2. 穿刺吸引細胞診により採取した甲状腺癌および甲状腺癌を原発巣とするその他臓器の癌に由来する、廃棄予定の穿刺吸引内容物

■対象者及び対象期間；2019年3月31日までの間で下記のいずれかに該当する方

1. 伊藤病院において検査の為に採血された方
2. 甲状腺癌または甲状腺癌を原発巣とするその他組織の癌の疑いで穿刺吸引細胞診を受けられた方

■利用の範囲；検体は富士レビオ株式会社（責任者；金子 敦）へ送付され、測定されます。
（共同研究）

■資料・情報の管理について責任を有する者

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前四丁目3番6号
伊藤病院 内科 部長 吉村 弘
TEL03-3402-7411

■問い合わせ先

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前四丁目3番6号
伊藤病院 内科 部長 吉村 弘
TEL03-3402-7411